

川柳アート

選者：川柳アート
八木健（月刊川柳総合誌）
「川柳マガジン」三元選者

96

特選



北川正浩 栄誉賞

生前にあげたかったね

生前にあげたかったね栄誉賞

昭和の大横綱・大鵬の、三十二回優勝の大記録。賞をあげるのが遅れたのは、八百長騒動で忘れてたんです。ハイ。

北川 正浩（松山市）



武井基次

パチンコと生活保護で生きられる

なるほどね。しかし、生活保護費をパチンコにつき込んでしまつてはね。なんぬ？ 保護費だけでは生活できない。

武井 基次（松前町）

佳作



松友順三

吸いながら吸うかやめるか考える

吸いながら吸うかやめるか考える。結論を焦らないのが俺流なのさ。肺がんになると決まっちゃいない。それに、人間いつかは死ぬんだから。

松友 順三（松山市）



大西 知子

跡取りが出来たと泳ぐこいのぼり

跡取りが出来たと泳ぐこいのぼり。少子化の時代だけにうれししいね。世間で一番喜んだのは、こいのぼり屋さん。その次は小児科医院かな。

大西 知子（松山市）



藤原白男

共白髪

共白髪誓っていたに共に禿げ

禿げても良い川柳が詠めればいい。「アクリート」の川柳に入選するより禿げない方がいい？ そりゃそうだ。

藤原 白男（今治市）



田辺 進水

八十で二十の入れ歯ならでできる

八十で二十の入れ歯ならでできる。八十歳で自分の歯が二十本以上が理想らしいが、入れ歯を何度も作り直して机の中に二十ほどもある？

田辺 進水（松山市）



浦島太郎

あちこちに浦島太郎

あちこちに浦島太郎生きている。海外生活の長かった人は浦島太郎。カラオケに行くだけの毎日のヒトも。昨今の空気を読めない人も浦島さん。

和泉元良彦（東温市）



谷原剛夫

念のため

念のためカラスに聞けよゴミ出し日

念のためカラスに聞けよゴミ出し日。カラスにとってゴミ出し日の情報は切実なものですからね。その情報を頂くために良いゴミを出しましょうね。

谷原 剛夫（松山市）



男と女

三枝目半
（今治市・68歳）

退職した夫が朝食後出かけた。この解放感、うれしい！ 即テレビをつけ、新聞を広げた。頭の中はテレビと新聞が出たり入ったり。突如、映画「男と女」の音楽が……。何事かと思えば、小学生理科の磁石の実験だった。鉄粉が磁石に引かれたり、二本の磁極が引かれたり反発したりと、そこで「男と女」とは、妙に納得して笑ってしまった。科学実験と音楽のコラボとは味な事をするものだと感じた。でも小学生に分かるかな？

気付き

さおみ
（東温市・42歳）

先日、乳がんが見つかり入院、手術した。若い頃は自分の命なんて、自分一人のもの、いつ死んでもいいと思うこともあった。でも病気をきっかけに自分一人の命ではないことに気付かされた。周囲の支えや、当たり前前に思っていたことがこんなにもありがたいものだとは、今まで気付かなかった。感謝感謝だ。つらい治療がこれから始まるが、支えてくれた人たちのためにも乗りこえていきたい。

お便り募集

○川柳
テーマは自由。未発表のオリジナル作品に限ります。採用された作品には選者・八木健さんが切り絵やCGを使った「川柳アート」を作り、本誌に掲載の上、採用者にプレゼントします。

○ひろば
エッセーなどを募集しています。テーマは自由、200字以内。誌面の都合上、原稿を割愛、修正する場合があります。ご了承ください。

ください。採用の方には、1,000円分の図書カードをお送りします。
川柳とひろばのあて先は下記の通りです。住所、氏名、電話番号、性別、年齢をお書きください。（ペンネームも可。必ず氏名を記入してください。）
※ご応募いただいた個人情報、適切に取り扱います。

〒790-8511 松山市大手町1丁目12-1
アクリート編集室 通信係
Eメール accrete@enp-sc.jp

ピカピカの中学校
M・Nばあば
（砥部町・69歳）
中学校が改修され、お披露目があり見学した。木の香りがする立派な校舎に目を見張るばかり。私たちの中学時代は、臭いのするトイレがあったが誰も何も言わず、一生懸命遊び勉強した。床は雑巾がけできれいに磨いたのを覚えている。はてさて、この建物が今まではどう教室で傷一つない今、いつまでこの状態が続くのか。いや続いてほしいものである。生徒諸君、これからの後輩のために、いかに磨かれていくか見ものであるよ！